

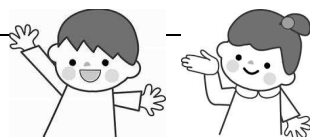
# のびのび



平成30年度校長室だより 第5号 平成30年10月4日

湯田小学校の大切な言葉： あしたも会おうね 温かい学校 ～ 学び合い ～

30年度チャレンジ目標：湯田小ABC



修学旅行にて

校長 伊藤 豊

6年生と広島に修学旅行へ行ってきました。初日は、広島平和記念公園での学習が中心でした。原爆の子の像の前で平和の集いを行いました。次に資料館を見学し、その後に被爆の記憶を語り継ぐ方に講話をいただきました。その方は、1945年8月6日当日、19歳の青年だったそうです。工場の夜勤明けで布団に横になった時（午前8時15分）、爆発に巻き込まれたとのことでした。倒れた建物からはい出してヒロシマの街をさまよいながら見聞きされた惨状を、子供たちに分かりやすく、とても印象的に語ってくださいました。その方は、全身に大やけどを負った多くの方々に「末期の水」を飲ませた経験を語りながら、「私ほどの殺人鬼はいない」という表現をあえて何度も使われました。その時何もできなかった自分自身を70年間にわたって責め続けていらっしゃる、その悲しみが聞いている私たちにもひしひしと伝わってきました。子供たちも真剣に聞き入っていました。この体験をきっかけに、平和を維持していくためにできることを考え、実行してほしいと願っています。

さて、平和公園での学習を終えた後、全員で宮島に移動しました。フェリーから朱塗りの大鳥居が見え始めると、子供たちの気持ちも一気に高まってきました。宮島には、同じように修学旅行に訪れた小学生がたくさん活動していました。どの団体も、引率の先生のお話が終わった瞬間にお店に飛び込んでいき、思い思いにお土産を選ぶ姿は同じでした。ホテルでの夕食は、スープからメイン料理、デザートと子供向けながらコース料理でした。ナイフとフォークを使っていたいただきました。こういった機会を通して、学校ではできない会食マナーを学んでいます。



2日目は、朝から雨でした。傘をさしての島内観光となりました。現地ガイドさんの案内で、厳島神社を見学しました。本校児童の見学マナーはとてもよかったと思います。事前に学習がしっかりなされていたからでしょう。6年生にとっては、また一つ小学校生活の大きな行事が終わりました。子供たちの心の中には寂しさもあるかもしれませんが、行事ごとに成長した姿を見せてくれる6年生には頼もしさを感じます。これもひとえに、学校・保護者・地域の三者が、「子供たちの成長のために」との思いを一つにして、小さい頃から育ててきた証だと思えます。「修学」の名にふさわしい2日間でした。

こんなところに…「やさしい言葉」

「みんなに、みんなで」



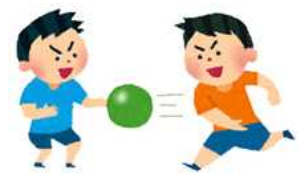
休み時間に授業中にと、一日のうちにすべての校舎・教室を二巡しようと日々努めています。その際に、おきまりのスケッチブックを携えています。最も多く示す言葉は『やさしいことば』です。そのような中、最近多く示すようにした言葉があります。『みんなに みんなで』です。子



供たちにスケッチブックを示しながら「この言葉に続いて同じ言葉が入ります。あなたは何だと思いませんか？」と機会あるごとに尋ねています。真剣に考える子供たちの表情がとてもよく、「手伝い」「教える」「笑顔」「あいさつ」とほとんどの子供が納得の言葉を答えてくれます。

昨年度末に配付された「湯田小・中学校連携カリキュラム」には、7つのキャッチフレーズが示されていますが、その中の一つに「人間関係づくり」があります。学校といった集団生活において学べる、良好な人間関係のつくり方の段階が、先のカリキュラムには発達に従って示されています。低学年は「集団生活のきまりなどについて学び、自分の考えや気持ちを自分から伝えることができる」ことをめざします。簡単に言い換えれば、家庭では少々許されるわがままな言動も、集団生活においては遠慮しなくてはならないことを子供たちは覚えなくてはなりません。低学年の子供たちを見ていると、まだ十分ではない姿があります。こればかりは、集団生活を通じて体得させなければなりませんから、教える側も根気が求められます。

また、連携カリキュラムには、子供たちの人間関係づくりにおいて、ご家庭や地域で担っていただきたいことも示してあります。その中に「地域行事への参加」があります。学校とは異なる集団に参加し、教職員とは異なる大人とのふれあいも、子供たちにとってかけがえのない学びの場です。今月下旬には、湯田ふるさとまつりが開催されます。『湯田地域のみんなに、みんなで』声掛けをして、子供たちの良好な人間関係を築いてまいりましょう。



## 湯田小 ここがいいね



今回は、「湯田地区ここがいいね」です。

台風24号が、日本各地に被害をもたらしながら通り過ぎていきました。幸いに山口市に大きな被害もなく済みました。

しかし、台風24号の影響で、9月30日に予定されていた「湯田地区総合避難訓練・ふれあい安心安全フェスタ」が中止となってしまいました。この企画は、湯田コミュニティの皆さんをはじめとして、実に多くの団体の皆さんが綿密な準備を重ねておられました。それだけに、残念であったろうと思います。多くの人に関わるからこそ、「安心安全最優先」で中止をされた決断は、とても勇気があると感じます。何のために、誰のために行事を開催するのかという目的意識や相手意識にブレがなかったおかげで、けが人も出ませんでした。

本年度は実施できませんでしたが、こうした地域を挙げての避難訓練を毎回積み重ねることやフェスタ等の集いを通して顔見知りになっておくことが、いざというときに大きな力を発揮するのだと思います。小学校でも、避難訓練等を通じて子供たちの危機対応力や落ち着いて行動できる力の育成に引き続き努めます。

## 今月のフォトニュース

今回は、委員会活動です。5・6年生が学校や下級生のために活躍してくれます。毎日の常時活動と毎月の定例会を通して工夫を凝らします。



本のカバーがすてきなしおりに。  
図書委員会



いよいよゆめ花博へ出荷します。  
緑化委員会